

～タクシーのご案内～

- 今井タクシー有限会社 04-7182-1341
- 株式会社ニュー東豊 04-7183-3322
- 京成タクシー東葛 0120-840-103
- 豊島交通株式会社 04-7183-5001

※この地図には…

- 坂東バス
 - あびバス（新ルート）
- のバス停が記載されています。



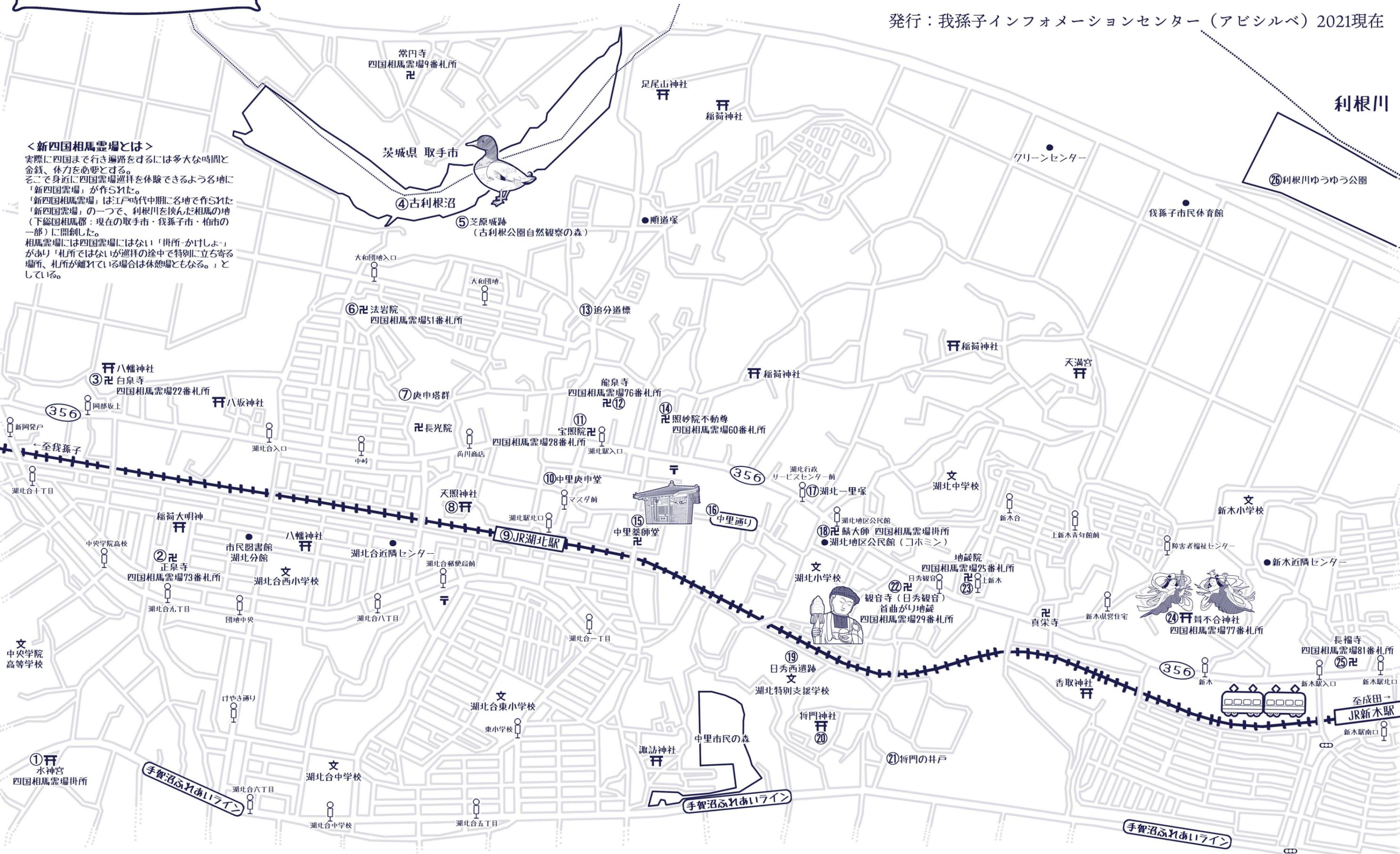
我孫子まち歩きマップ

JR成田線湖北駅・新木駅

発行：我孫子インフォメーションセンター（アビシルベ）2021現在

＜新四国相馬霊場とは＞

実際に四国まで行き遍路するには多大な時間と金銭、体力を必要とする。そこで身近に四国霊場巡拝を体験できるよう各地に「新四国霊場」が作られた。「新四国相馬霊場」は江戸時代中期に各地で作られた「新四国霊場」の一つで、利根川を挟んだ相馬の地（下総国相馬郡：現在の取手市・我孫子市・柏市の一部）に開創した。相馬霊場には四国霊場にはない「掛所-かけしよ」があり「札所ではないが巡拝の途中で特別に立ち寄る場所、札所が離れている場合は休憩場ともなる。」としている。



利根川

②⑥利根川ゆうゆう公園

我孫子市民体育館

クリーンセンター

天満宮

新木小学校

新木近隣センター

長福寺 四国相馬霊場81番札所

②⑤

至成田→ JR新木駅

新木駅南口

新木駅北口

新木

③⑤⑥

新木

①**水神宮**
谷津田に開墾に伴って奉祀されたもので、18世紀の創建と思われる。本堂は平成20年（2008年）に新築されたもので、水神社本堂竣工記念碑を見ると多くの人々の協力によって造営され、地域の守り神として人々に大切にされていた事がわかる。新四国相馬霊場掛所。

②**正泉寺**
曹洞宗の古刹。本尊は延命地蔵菩薩。鎌倉時代の弘長3年（1263年）、執権北条時頼の息女法性尼がここに庵を結んだという言い伝えがある。「女人成仏血盆経出現図」ほか関係資料が県の指定文化財になっている。新四国相馬霊場73番札所。

③**白泉寺**（市指定文化財）
曹洞宗。本尊の阿弥陀如来の他、十一面観音、薬師如来が祀られている。大師堂内には2体の石造大師像が安置されている。待道講発祥の地。新四国相馬霊場22番札所。隣には八幡神社がある。

④**古利根沼**
利根川百景の一つで明治末期、度重なる水害を防ぐために明治45年（1912年）に治水を行なった結果、蛇行部分が残ってきた沼。利根川本流の名残、河跡湖（または、三日月湖）である。沼の北側は取手市の小堀（おおほり）で江戸時代は舟運で賑わった。水田・林・沼と様々なフィールドで自然観察ができる他、魚の釣り場としても多くの市民に親しまれている。冬には渡り鳥が飛来する。

⑤**芝原城跡**（又は中峠-なかびょう-城跡）
城跡北に古利根沼を見下ろす台地上にあり、東西400m、南北300m、3つの郭（曲輪：くるわ）をもつ、この地方では比較的大きな中世城郭。小田原北条氏の家臣であった河村氏の居城。現在は「古利根公園・自然観察の森」として整備され、空堀や土塁の一部を見る事ができる。

⑥**法岩院**
曹洞宗の寺。天文11年（1542年）創建。本尊は釈迦如来。芝原（しばら又は中峠）城主河村出羽守勝融が開基とされ、出羽氏の墓が境内の西、丘の上にある。新四国相馬霊場51番札所。

⑦**庚申塔群**
中峠上地区の道に面した庚申塔群。椎の大木の下に並び時の流れを感じさせる。

⑧**天照神社**-てんしょうじんじゃ-
祭神は大日靈売命（おおひるめのみこと＝あまてらすおおみかみ）。境内には富士山を模した像があり、毎年6月30日に浅間様のお祭りがある。拝殿に向かって左の覆いの中にある二十一仏武蔵石板碑は関東南部に50基ほどしかないもので、市の指定文化財に指定されている。

⑨**JR成田線 湖北駅**
湖北駅ホームには鋼鉄製の「担ぎ台」が置かれている。これは東京方面に農産物を行商に出かける地元の女性たち（かつぎ屋さん）が重い荷物を担いだまま休めるようにつくられた設備。かつては日常の風景として見られたかつぎ屋さんの姿は高齢化や近代化の流れとともに人数が少なくなっていった。令和2年（2020年）7台あった「担ぎ台」は駅の改良工事に伴い3台を駅に保存し、2台は我孫子市、2台は鉄道博物館へ寄贈された。

⑩**中里庚申堂**
江戸時代中期、正徳元年（1711年）の庚申塔などがある。地元の人々によって綺麗に手入れされている。我孫子市内で唯一、お堂の中にある庚申塔。

⑪**宝照院**
真言宗。本尊は大日如来。大師堂の屋根は宝形造となっている。宝形造の大師堂は我孫子市内ではこの一棟だけで昭和10年（1935年）上棟、非常に優美である。現在も自治会を中心とした地元の人々によって大切に守られている。新四国相馬霊場28番札所。

⑫**嘉龍泉寺**
真言宗。本尊は不動明王及び童子。近世には中相馬の真言宗の名刹として知られ、近郷14ヶ寺有する勢力のある寺院であった。山門と本堂は昭和30年（1955年）に上野凌雲院から譲り受けたもの。新四国相馬霊場76番札所。

⑬**追分道標**
江戸時代に建てられたと考えられる、街道の交差する所。道標には「東　ふさ・木おろし道、北　あし尾山道、南　中峠村、西　〇〇・ふせ道」と記されている。

⑭**照妙院・不動尊**
真言宗。本尊は不動明王。明治になり廃寺となったが、不動尊に札所が引き継がれている。不動尊は延暦23年(804年)空海が遣唐使の船中で製作したと伝えられている。新四国相馬霊場60番札所。

⑮**中里薬師堂**
旧宝蔵院境内に建立された仏堂。明治維新後宝蔵院は廃寺となったが、薬師堂は中里区の住民によって維持されてきたという。堂内には江戸時代後期作といわれる薬師如来と脇侍、日光・月光菩薩、十二神将像がすべて安置されている。そろって残されていることは大変珍しく、地域の人々による信仰と管理が引き継がれてきたことを物語る。現在、本尊は秘仏とされ年に一度2月11日の御開帳に公開される。平成18年（2006年）に市指定文化財に指定された。

⑯**中里通り**
地元で中里宿（しゅく）通りと呼ぶ旧中里村中心部の通り。かつての農村集落のたたずまいが残る。中野家（13代当主の中野治房氏は戦前東京帝大教授で水生植物研究の権威。『湖北村誌』を校閲し旧湖北村の村長を務めるなど郷土に貢献した。）のレンガ塀は明治14年（1881年）のもの。通りには星野家の長屋門やシイ、エノキの巨木が見られる。（両家共非公開）

⑰**湖北一里塚**
一里塚は、江戸時代に日本橋を起点に主要な道路に1里（約4km）ごとに設けられた。我孫子市内には当時4ヵ所に一里塚が設けられたが、現在まで”塚”として残っているのは湖北と東我孫子の2ヵ所。（布佐一里塚は碑が残るのみ。）千葉県内で塚が残るものは極めて稀で、貴重な史跡となっている。

⑱**鯖大師堂**
湖北地区公民館（コホミン）敷地内にある小さな堂。室内には石造りの鯖をもった鯖大師立像と弘法大師像が安置されている。新四国相馬霊場掛所。

⑲**日秀西遺跡**-ひびりにしいせき-（相馬郡衝正倉跡-そうまぐんがしょうそうあと-）※非公開
旧石器時代から縄文、弥生、奈良時代以降の住居跡などが見つかった複合遺跡。掘立柱建物跡は奈良・平安時代に相馬郡の役所が徴収した米を貯蔵した倉庫「正倉」と考えられ、54棟が確認されている。倉庫群は千葉県指定史跡に指定。

⑳**将門神社**
旧日秀村の村社将門神社は字上宮前、手賀沼を眼下に望む丘陵の南端に鎮座している。祭神は平将門。明治41年(1908年)に字掘込-ほつこめ-にあった無格社水神社(祭神は水波賣命-みずはめのみこと-)を合祀して将門社から将門神社となった。日秀の地は平将門に関する伝承を今に伝える我孫子市内でも特記すべき所となっている。また、将門は幼少のころをこの地で過ごしたとの伝承が残っている。将門を裏切ったとされる桔梗御前の故事にちなみ、日秀では桔梗を植えることを禁じ、また植えたとしても花が咲かないという。さらに将門の紋所である九曜紋（くようもん）が胡瓜を輪切りにした状態に似ていることから胡瓜は輪切りにしない、将門調伏を祈願した成田山新勝寺へは参拝しない等、将門との関わりを色濃くのこしている。

㉑**将門の井戸**
将門が開いたと伝承のある井戸。井戸の側には「将門の井戸・承平2年（932年）将門が開き軍用に供したと伝えられている」と記された角柱が立っている。井戸は明治の末ごろまでは、こんこんと湧き出る清水を湛え手賀沼の低地へ落としていたという。現在、湧水はわずかで雨水を湛えるのみだが、7月14日の将門神社の「みやなぎの日」に、消防団の人々の手によって恒例の井戸さらいが行われている。

㉒**観音寺**（日秀観音）
観音寺の創立に関しては、歴史資料に乏しいため伝承によるところが多くある。曹洞宗観音寺としての創立は寛文2年(1662年)といわれ、開山は現我孫子市湖北台にある曹洞宗正泉寺の九世名翁全誉大和尚、開基を長安常久禪定門と伝えられている。我孫子市日秀地区には「観音寺」「将門神社」「将門の井戸」の3ヶ所の史跡で将門の伝承がある。伝承によると、将門が幼少期にこの地で過ごしたという説、手賀沼を南方より騎馬のまま渡り、台地に登って朝日を拝したという説、その拠点に「神社」を建て、軍用に使用したとも敵の首を洗ったともいわれる。「石井戸」を造ったという説など様々。将門敬愛の思いは厚く、タブーとされる事項がいくつもある。「成田参詣はしない」「桔梗の花は植えない」「桔梗の柄の書かれた物は使用しない」「胡瓜を輪切りにしない」等。（㉒でも解説有）
観音寺境内に建てられたお地蔵様は将門調伏のために建てられた成田山新勝寺を嫌い首が傾いていることから「首曲がり地蔵」と呼ばれている。新四国相馬霊場29番札所。

㉓**地蔵院**
真言宗。本尊は地蔵菩薩。明治時代に彫られた像高15cmほどの地蔵が1200体以上安置され「千体地蔵」と呼ばれている。明治になり廃寺となったが、その後も地元の人々により守られてきた。昭和57年（1983年）に現在のお堂が建てられた。賽銭箱にも「昭和57年」とある。新四国相馬霊場25番札所。

㉔**葦不合神社**-ふきあえずじんじゃ-（市指定文化財）
鶺鴒葦葦不合尊-うがやふきあえずのみこと-を御祭神とする珍しい旧村社。拝殿には色彩豊かな天女の絵がかけられている。拝殿のうしろ、一段高いところにある本殿周囲の四面の彫刻は見応えがあり、一見の価値あり。天岩戸、八岐大蛇-やまたのおろち-退治など、日本神話を題材にしている。新四国相馬霊場77番札所。

㉕**長福寺**
明治のなり廃寺となったが、信徒や地蔵尊奉賛会により護持されているという。新四国相馬霊場81番札所。下総三十三ヶ所観音霊場22番札所。

㉖**利根川ゆうゆう公園**
面積は86.3ヘクタール。約4.5キロメートル続く利根川右岸側の古利根沼付近から布湖排水路までの河川敷内にある。園内は、自然観察ゾーン、スポーツゾーン、ファミリーレクリエーションゾーン、自然緑地ゾーンの4つに分かれている。スポーツゾーンにはサッカー場、野球場が各2面ずつ。ファミリーレクリエーションゾーン内にはデイキャンプ広場や全長約490メートルのオフロード自転車コースなどがある。約8ヘクタールの自然緑地ゾーンは、ヨシ原や河畔林など河川敷特有の自然を保全するゾーンになっている。スポーツ施設は要予約。問合：我孫子市民体育館　Tel.04-7187-1155

MEMO

